

包装資材の総合ソリューションサプライヤーである(株)ダイワパックスが、東大阪市にある本社社屋内の複数スペースにカメラ付きLED照明ViewLEDを導入しました。万が一のトラブル発生時の迅速な状況把握や原因究明に、あるいはセキュリティ対策などに、撮影範囲の広いクリアな映像をお役立ていただいています。

1951年にセロファンの販売会社として大阪市で創業した(株)ダイワパックスは、現在では透明フィルム、プラスチック、アルミ箔、紙など包装資材の総合ソリューションを提供する企業として、関東、関西、九州に拠点を広げて事業を展開しています。対象分野は食品をはじめ医療品、電子部品、生活用品など多岐にわたり、環境および品質への取り組みも積極的に行っています。



【物件概要】
所在地: 大阪府東大阪市高井田本通7丁目1番11号
構造・規模: 鉄筋造、地上5階地下1階建
建築面積: 約1004.54m²
延床面積: 約2401.05m²
施工: (株)ダイワパックス
施工: 電気／（㈱）ランテック
リニューアル完成: 2025年6月



1階倉庫のViewLED 高さ5.5mの天井に設置されたベースライトのうち3灯に5,200lmタイプのViewLEDベースライトタイプを採用
広範囲をカバーする死角の生じにくい俯瞰映像により状況確認が可能(右下: カメラ映像)

出荷製品の倉庫や荷捌き場をはじめ、本社建屋内の各スペースに、ViewLEDベースライトタイプを計9台採用。

食品や医療品、電子部品、生活用品といった幅広い分野に、それぞれに合わせた特徴を持つ高品質パッケージ資材をお届けしている(株)ダイワパックスは、本社建屋1階に倉庫機能を持ち、商品である各種パッケージを一時的に保管する体制をとっています。

今回、本社へのViewLED導入は、倉庫内での事故やトラブルが発生した際に、迅速に解決し、再発防止につなげることを目的にしたもの。以前は聞き取りなどで状況を把握しようとしていましたが、客観的なエビデンスがなく正確な報告や原因究明も難しく、内容齟齬が生じるケースもあつ

たため、採用できる本格的な映像ソリューションを探していたとのことです。

導入されたのは既設照明設備をそのまま交換できるベースライトタイプで、広角カメラ、無線接続タイプです。倉庫内でできるだけ少ない台数で広範囲をカバーできること、映像がクリアなこと、無線接続で全てのカメラ映像を閲覧できることなどが器具選択の決め手となりました。

導入後に、荷棚の商品が落下して破損する事故がありました。その際も原因の特定と対策に活用していただけました。現在、他拠点での導入も進められ、インターネット接続による運用も検討されています。



ViewLEDベースライトタイプ
広角カメラ無線接続タイプ

主な掲載器具一覧		器具名(品種名)	形名	台数	備考
設置場所					
屋内	カメラ付き LED 照明 ViewLED ベースライトタイプ	LEEM-C40524N-6W	9	消費電力:35.3W	



中2階倉庫のViewLED
中2階フロア全体の確認だけでなく
トラック搬入の様子なども確認可能



1階物流事務所のViewLED
人の出入りの確認など
セキュリティ対策として設置



1階無菌倉庫のViewLED
空間ほぼ中央のベースライトをViewLEDに置き換え



3階執務室のViewLED
日のセキュリティ対策として
通路上の2台のベースライトをViewLEDに置き換え

1階倉庫(中2階下)のViewLED
天井高さ2.5mの空間でも
広い範囲をカバー可能